



各地区の青少年育成事業活動紹介

青推協では、各地区における青少年の育成事業を行っています。「話してつながろう 家族のわ」をスローガンに、青少年の健やかな成長とそれを支える地域社会づくりを促進します。

抜粋した3地区での取り組みの様子をご紹介します。

☆「児童センターで学ぼう」「あさひまつり 2024」 旭地区



8月4日長久手市にある愛知県児童総合センターで、親子参加による、視察研修を実施しました。子どもたちは施設内のプログラムに沿って大いに遊んでもらい、「とても楽しかった」と感想をもらいました。部会員は施設見学を通して、イベント発案や企画ヒントがたくさん得られ、今後の地域活動に大いに役立てられそうとのことで、とても有意義な研修になったと好評でした。

11月3日には旭交流館周辺で「あさひまつり 2024」が開催されます。モルック体験、水消火器体験やスタンプラリーなどいろいろなイベントが企画されている中、青少年部会は、昨年に続きWRC啓発の一環として、ミニ4駆のレーシングコースを作り、親子で楽しんでもらう予定です。(写真(下)は昨年の様子です。)

☆「社会を明るくする運動」「野外課題活動」 保見地区

6月15日保見交流館多目的ホールにて“社会を明るくする運動”を行いました。

小中高生6名による地域を明るくしてくれる力強い意見発表と共にアトラクションの部ではWE LOVE とよたのサポーターとしても大活躍している豊田大谷高校ダンス部による演技を披露していただき、大盛況で無事終わることができました。



8月9日には野外課題活動として、小学生を対象に愛知工業大学の学生によるロボットミュージアムを開催していただきました。教授より人間とロボットとの関わりをはじめ、学生たちが手掛けて作成したロボットに子どもたちも興味津々でした。特に水中を優雅に泳ぐマンタロボットには実物の動きと同じで、感動と共に時間を忘れるほど楽しむことができました。



保見地区の子どもたちの健やかな成長とそれを支える地域づくりに今後も推進していきます。

☆「小中学生の意見発表」「新春風あげ大会」 前林地区



7月6日(土)に「小中学生の意見発表」を開催。堤小学校2名、駒場小学校2名、前林中学校6名の代表者が、家族、学校、地域の方との関わりなど身近な出来事を通して考えた意見を発表。新鮮な切り口の意見や提言に気持ちを新たにしました。

また、来たる1月26日(日)には「第29回新春風あげ大会」を開催予定です。コロナ禍で2年間中断した際は存続か廃止かの議論も飛び交いましたが、昨年度は参加者50名、同行者110名の規模まで回復。手作りの凧を手に前林中学校グラウンド内を走り回る親子の姿や、多世代の皆さんが楽しそうに談笑している姿は、いつ見ても嬉しいものです。大会の最後には40枚の凧を横に繋げたアーチカイトを子どもたちの力を借りて空高く上げます。是非ご来場ください。(写真(下)は昨年の様子です。)

